
22. <水球陣>OB戦

H27.1.25 対東大OB @東大プール

東大 8 4 4 9 計 25

東大OB 3 2 3 2 計 10

得点者：現役；浪間(8)、池亀(6)、梶原(3)、小池(1)、谷口(1)、山田(6)

OB；轟さん(2)、中野さん(10)

現役チームは長らく OB チームに勝利することができていないため、今年こそは勝利し、今年のチームは一味違うということを見せつけたい。さらに、できれば大差をつけ、今後の大会に向けての弾みをつけたいところだ。

第1ピリオド

競泳陣の声援の中、藤目がセンターボールをとり、現役チームの攻撃から OB 戦が始まった。最初の攻撃は、フローター浪間へのパスインをカットされて失敗し、逆に OB チームに攻め込まれるも、池亀がこれを落ち着いて守る。ここで飛び出した藤目が退水を呼び込み、池亀が右0度からシュートを決め現役チームが先制する。谷口の退水から中野さんがシュートを決めて同点とされるが、浪間、山田らがカウンターで得点を重ね、突き放す。その後も現役チームは、退水、カウンターで差を広げ、OB チームはフリースロー、ハンツで中野さんが2得点し、8-3、現役チーム5点リードという形で第一ピリオドを終える。

第2ピリオド

開始早々、轟さんが退水を誘発し、OB チームのチャンスとなるが、梶原のボールカットからのカウンターで、梶原がミドルシュートをゴール右隅に決める。さらに浪間、山田らがカウンターで得点するが、浪間への下がりに対応しきれない現役チームは、第一ピリオドほどの爆発力がなく、逆に中野さんに退水を誘発されるなど危ない場面も見られた。OB チームは轟さん、中野さんが得点し、12-5で折り返す。

第3ピリオド

後半戦は現役チームの連続得点から始まる。山田、浪間のパスカットから少人数のカウンターが続いたのだ。しかし、その後は現役チームの苦しい時間が続く。カウンターは出るものの、パスミスやパスカットで今一步決めきることができず、セットオフenseも浪間に下がられてうまくシュートにつながらない。その間、中野さんがフローティング、フリースローシュートで3得点し、OBの意地を見せる。一進一退の攻防が続く中、ピリオド終了間際に山田がハンツーシュートを決め、16-8で最終ピリオドへと突入する。

第4ピリオド

最終ピリオドは現役チームの攻撃から開始する。最初の攻撃で、フローター細江からのパスアウトを池亀がミドルレンジからシュートし得点する。OBチームも負けじと、下東さんからのパスを中野さんが叩き込む。このピリオドも第3ピリオドのようなシーソーゲームになるかと思われたが、1年キーパー久田の好セーブもあり、OBチームはなかなか得点できない。逆に現役チームは疲れの見えるOBチームに対して泳ぎ続け、退水やカウンターで池亀、梶原らが得点を重ねていく。終盤には、轟さんが退水で押し込み一矢報いるも、浪間のフローティングも機能し始めた現役チームの勢いは止まらず、このピリオドに現役チームは9得点を挙げ、25-10という大差で現役チームが勝利した。

結果的に15点差をつけての勝利ということで、現役チームの強さをOB・OGの方々に見せつけることができた。特に、潰してパスコースに入るディフェンスやカウンターなど、新チームになって練習してきたことが存分に発揮できていた。一方で、フローターに下がられた時に対応できず、得点力が落ちてしまうという課題も見える試合であった。最後になりましたが、試合に出場してくださった、許さん、林政一郎さん、大野さん、轟さん、中野さん、有吉さん、下東さん、只野さん、大脇さん、応援にいらしてくださった、宮下さん、岩村さん、上子さん、唯さん、渚さん、奈々さん、郁さん、本当にありがとうございました。また、競泳陣のみなさん、応援ありがとうございました。

(文責 谷口 遼)

=====